

希少な自然環境を学び受け継ぐ意思が芽生えた地域の担い手

協会会長賞 徳島県 海陽町立穴喰小学校

エダミドリイシサンゴが群生する海、国の天然記念物に指定されているヤッコソウが自生する山、近年生息数が激減しているシマドジョウが群れる川。こうした豊かで希少な自然が校区に息づく同校では、長年にわたり地域と連携したさまざまな環境保全活動が行われている。「大好き、穴喰！プロジェクト」と名付けられたこの取り組みは、海、山、川をテーマに、つかむ、知る、まとめる、伝えるという4つのプロセスを経て実施。

海では、全校児童による海岸一斉清掃を行い、ペットボトルや空き缶、漂着ゴミなどが散乱している現状をつかむ。また、水質の悪化などが原因で海中のエダミドリイシサンゴが減少していることを知った児童は、地元漁協や住民の協力により、エダミドリイシサンゴの移植や保全活動にも励む。

山においては、山に植樹することが生物多様性と水質保全につながることを深く学び、林業関係者の指導のもと、ドングリを採取し育苗、山に植樹をしている。同校の前を流れる穴喰川でも、水質調査や生き物調査を行いながら積極的に状況を把握し分析。穴喰川の上流から下流まで水質調査をしたところ、日本一の清流と謳われる海部川と同等の水質であるという結果が得られ、児童はいっそう穴喰の自然に目を向けるようになった。

そうしたふるさとの魅力を多くの人に知ってもらおうと、活動結果などをわかりやすくまとめて新聞やマップにして図書館や役場などに掲示し、地域内外に広く発信。

穴喰漁協の戎谷（えびすだに）真一さんは、「サンゴの移植活動を体験した子が成人し、町の海洋自然博物館職員になって今は児童を指導する立場にいるなど嬉しい成果もあります」と期待を寄せる。空き缶などの資源ごみ回収も盛んで、地域の担い手として住民から温かいまなざしが注がれる中、児童には穴喰の豊かな自然を共有し受け継ごうという心構えが備わっている。

徳島県海陽町立穴喰（ししくい）小学校

学校長：吉成 高志

生徒数：111名（2015年11月末現在）

住所：徳島県海部郡海陽町久保字松本 88 番地

電話：0884-76-2009

アクセス：「穴喰」駅から徒歩約30秒



写真上：児童が移植したエダミドリイシサンゴが海底で育成中の様子、写真上から2番目：穴喰川の水質・生き物調査に取り組む、写真上から3番目：ふるさとの貴重な自然を地域内外に発信するガイドマップ、写真下：アルミ缶の回収・分別作業